

骨密度測定装置

Smart BMD

この度、当院では最新型骨密度測定装置を導入いたしました。

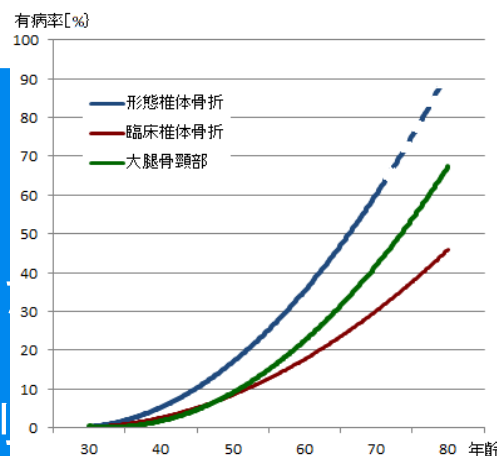
骨粗鬆症の診断は原則として腰椎または大腿骨近位部骨密度を用いることが推奨されています。

当院では腰椎・大腿骨近位部の骨密度を測定することが可能ですので、骨粗鬆症の最適な診断が可能です。検査は数分で終わり、測定精度は非常に高いのが特長です。検査結果は、医師と一緒に確認いただくことができます。ご不明な点があれば、お気軽に医師・看護師までお声がけください。



なぜ骨密度を測定するの？

世界的には骨密度は大腿骨骨密度を重要視されています。大腿骨近位部の骨折はその後のQOLに大きな影響を与えるため、大腿骨の骨密度の状況を把握することが重要です。また、大腿骨骨折の10～20年前に椎体骨折が発生している割合が高いため、その予防的な観点から腰椎での骨密度測定が注目されています。



骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2011年版

どんな検査？

- ・検査時間は約10分くらいです。
- ・スタッフの指示に従い、ベットに寝ているだけです。痛みはありません。
- ・X線を使っている測定ですが、被ばく線量は非常に少なく、胸部のレントゲンを1枚撮影するよりも少ないX線での測定が可能です。安心して検査をしていただけます。

